

三鷹の森ジブリ美術館ご招待

10月1日(水) 三鷹市民および近隣市市民招待デー
10月4日(土) 三鷹市民デー

今回で3回目を向かえた三鷹市民デー。

三鷹の森ジブリ美術館(三鷹市立アニメーション美術館)に三鷹市民の方などを抽選でご招待します。

【応募要領】

◆三鷹市民および近隣市市民デー(10月1日(水)・都民の日)
 4人1組で600組(2400人)を招待。対象は三鷹市民および近隣市(武蔵野市・小金井市・西東京市・調布市・府中市の5市)の市民。

●三鷹市民および近隣市市民招待デー(10月1日) 600組

区分	入場時間	招待者数
①	10:00	150組 600人
②	12:00	150組 600人
③	14:00	150組 600人
④	16:00	150組 600人

●三鷹市民デー(10月4日) 600組

区分	入場時間	招待者数
⑤	10:00	150組 600人
⑥	12:00	150組 600人
⑦	14:00	150組 600人
⑧	16:00	150組 600人

◆「三鷹市民デー」(10月4日(土))
 4人1組で600組(2400人)を招待。対象は三鷹市民
 ◆申込方法 官製はがきに住所・代表者の氏名(年齢)・人数(代表者を含む4人まで)・電話番号・別表の申込区分番号(1区分のみ、複数不可。三鷹市民の方は①〜⑧のいずれか、近隣市の方は①〜④のいずれか)を記入し「〒181-8555 三鷹市役所コミュニティ文化室」三鷹の森ジブリ美術館招待係」

■受講料一部助成

国際基督教大学・ルーテル学院大学の市民聴講生募集

市では、国際基督教大学、ルーテル学院大学との協働により同大学の市民聴講生を募集します。対象は18歳以上の市民(学生を除く)。
 ◆開設講座 ①「神学概論Ⅰ」(森本教授) 毎週火曜日 午前11時40分〜午後0時50分・毎週木曜日 午前10時20分〜午後0時50分、②「アメリカ文学史Ⅱ」(大西教授) 毎週月・水・金曜日の午前11時40分〜12時50分、③「無機化学特論」(ジユリアン教授・教授) 毎週水曜日 午後1時40分〜2時50分・午前10時20分〜11時30分。
 ◆受講期間 9月8日(月)〜11月17日(月)

◆当選者の発表
 招待状の発送をもって代えさせていただきます。招待状は9月中旬までにお手元に届くようにいたします。電話などによる当否の確認はできません。

◆受講料 1科目1万2千500円(うち2千500円を市が助成。1学期1科目を限度)。教材費は実費負担。
 ◆9月2日(火)〜5日(金)の午前9時〜正午、午後1時〜4時に、同大学公開講座担当係(大沢3-10-2本部棟2階・B33-3021)へ受講料を添えて申し込む。

◆開講講座 ①「英語で読む聖書Ⅱ」(中村教授) 毎週木曜日 午前10時30分〜正午、②「老人福祉の実際」(石川教授) 毎週水曜日 午後2時50分〜4時20分、③「社会福祉士受験対策講座」(高山専任講師) 9月8日(月)〜11月17日(月)

三鷹の森ジブリ美術館「三鷹市民特別枠」入場引換券

10・11・12月分販売

三鷹の森ジブリ美術館では、多くの市民のみなさんに美術館を楽しんでいただくため、三鷹市民特別枠を設けています。

9月1日(月)から10・11・12月分の販売を開始します。なお、混雑をさけるため、初日は販売方法が異なりますのでご注意ください。

◆9月1日販売開始分 平成

9月1日から発売

15年10・11・12月分の休館日(原則火曜日)と特別イベント日を除く毎日、午前10時入場と午後2時入場の枠を各50枚、合計100枚(先着順)。

◆料金 大人1千円、中学生700円、小学生400円、幼児(4歳以上)100円

◆購入枚数 1人1回6枚まで。
 ◆市民特別枠対象者

9月1日の販売

初日(9月1日)の販売
 ◆申し込み 午前8時30分から受付。
 ◆チケット引換 午前9時30分〜午後6時。

◆発売券には50枚分で1時間9069

市民聴講生募集

市では、国際基督教大学、ルーテル学院大学との協働により同大学の市民聴講生を募集します。対象は18歳以上の市民(学生を除く)。
 ◆開設講座 ①「神学概論Ⅰ」(森本教授) 毎週火曜日 午前11時40分〜午後0時50分・毎週木曜日 午前10時20分〜午後0時50分、②「アメリカ文学史Ⅱ」(大西教授) 毎週月・水・金曜日の午前11時40分〜12時50分、③「無機化学特論」(ジユリアン教授・教授) 毎週水曜日 午後1時40分〜2時50分・午前10時20分〜11時30分。
 ◆受講期間 9月8日(月)〜11月17日(月)

山本有三記念・講演シリーズ

2003年講演テーマ「郊外」 〜「郊外」生活と創作〜

中央文壇を離れ「郊外」へと移りながらも作家であり続けた山本有三、露風についてお話しさせていただきます。

▽①「山本有三と郊外の児童文学」(8月30日(土)) 講師は明星大学教授の宮川健郎さん。定員40人。

▽②「三木露風 若き詩人の頃」(10月4日(土))、③「三木露風—三鷹の後半生—」(10月11日(土))、いずれも講師は

紙見開き3ページ分(型紙用)・洋裁用具一式・ハサミ(布・紙用)2本
 ▼同工房へ直接または電話で申し込む。募集人数10人。(水・木・土・日曜日午前10時〜午後4時開館・深大寺2-16-13)
 ↓同工房 34-3196

災害義援金募集

宮城県北部連続地震災害
 ◆宮城県北部連続地震災害
 受付期間 8月29日(金)まで
 郵便振替(手数料無料)、受付口座 〇22900-61000 日本赤十字社宮城県支部。
 ※振込用紙の通信欄に「宮城県北部連続地震災害」と明記する。

水俣市豪雨災害
 ◆水俣市豪雨災害
 受付期間 8月29日(金)まで
 郵便振替(手数料無料)、受付口座 〇19000-099 日本赤十字社熊本県支部。

市民芸

三鷹短歌会7月の秀歌

(選と評) 金田 義直
 台風の土塵映すテレビには古里の街
 舞られてゐる 横尾そり子
 【評】はからずも見た台風直撃の古里の様子を「古里の街舞られてゐる」とタイナミックに表現しているが、台風の現状を伝えるには概念的。
 わたくしの思ひある事をすばり衝く
 投稿欄に心晴れたの 神宝満智子
 【評】「よきぞ言つてくれた」と言う作者の気持ちがよく表現されている。「心晴れたの」にも共感。水だけは切らさずやりの花菖蒲一輪咲き出の旅の思ひ出 太平 牧子
 【評】旅先で求め、プランターに植えておいた花菖蒲が花を咲かせた。喜びと共に楽しかった旅を思い出しているのだ。初句は一考したい。

万緑の中を二輛の赤き電車われ待つ
 駅に近づいて来る 小野五代子
 【評】會ての「週刊新潮」の表紙を飾った画家の絵を思い出した。安のきを感じさせる絵だったが、

あなたかい善意

(敬称略)
 ◆市への寄付
 ◇17万1千円 東京むさし農業共同組合三鷹ゴルフ会(三鷹市) ◇13万4千円 東京むさし農業協同組合 三鷹緑化センター出店者会